



みどりの エッセイ

Vol.20

岡部陽子

「グリーンコミュニケーションデザイナー」

木や花とふれあう 暮らしをデザイン

生まれ育ったのは横浜ですが、子供の頃は空き地も多く、自然がたくさん残っていました。父親の趣味が登山だったこともあって、山に登る機会も多く、母親も野に咲く花の名前に詳しくかったです。私自身もカエルやカブトムシを捕りに行ったり、虫を見に行ったりで、季節ごとの植物や動物、昆虫の変化を楽しむことが日常の生活の中に溶けこんでいました。

そんな毎日を送っていたこともあって、小学校の頃には文集に将来は自然科学者になると書いた記憶があります。大学では農学部所属し、林学研究室で山の調査を行い、間伐や枝打ちも体験しました。調査を行っていたのは北海道だったので、原生林の中にひとりで行って、林道がない中、歩いていくんです。調査ポイントを見つげられずに下山することもありました。山の中でたったひとりという状況を経験して、その緊張感と凛とした空気の中で自然は楽しいだけではない、厳しさもあり、大きいものなんだと実感したことを覚えています。

その後も自然や植物への興味は尽きることがなく、学生生活で得た知識や経験を活かし、現在はグリーン

コミュニケーションデザイナーとしてイベントやショップなどのディスプレイ、モデルハウスや個人邸のグリーンコーディネート、展示会などを行っています。植物の魅力をもっともっと多くの方たちに知っていただきたいというのが、一番の願いです。緑は育ててみて、生きものなんだ”と感ずる場合も多いと思います。ゴマみたいに小さな黒い種を水につけておくだけで芽が出て、根をつけるのを見ていると自然の力を感じたりしますよね。ブーケを届けに行ったらお客様からガーデニングの依頼を受けることもあるのですが、最初からお花が咲き誇る庭というよりも、お住まいになる方が、植物が育っていく過程と一緒に楽しめる庭づくりを心がけています。部屋の中に観葉植物を置いてみたり、庭に小さな木を植える。そんなことが環境や自然を大切にしようという気持ちにつながるのかなと思っています。

〈プロフィール〉

岡部陽子 (おかべ ようこ)

横浜市生まれ。玉川大学農学部農学科林学研究室卒業、一級造園施行管理技師。フローリストとしてフラワーショップ、園芸店に勤務したのち、フリーになり、ガーデニング、ブライダル造花などを手がける。2000年より大手グリーン装飾会社で商品デザイン、店舗運営に関わり、スーパーバイザーとして店舗管理を行う。2007年に会社「ワイスティーズ」を設立。2009年4月8日～12日にかけて「青・蒼・碧—アオイハナー」と題して、渋谷のギャラリー・ルデコで展示会を行う。